

**日立ミッドレンジディスクアレイサブシステム「SANRISE9500V シリーズ」の
ラインアップを強化**
**業界初の SATA/ファイバチャネルディスクドライブ混在を実現、
データ改ざん防止機能をサポート、ならびに最上位モデル「SANRISE9585V」を製品化**



**SATA ディスクドライブ搭載
「SANRISE9500V」**

日立製作所 情報・通信グループ(グループ長&CEO:古川 一夫、以下、日立)は、このたび、日立ミッドレンジディスクアレイサブシステム「SANRISE9500V シリーズ」のラインアップ並びに機能を強化し、本日から販売を開始します。

具体的には、「SANRISE9500V シリーズ」において、業界初の大容量・低ビットコストの SATA*1 ディスクドライブとファイバチャネルディスクドライブの混在を可能とすることで、オンラインデータを格納するオンラインストレージと、バックアップ/アーカイブデータを格納するニアラインストレージ*2を1つのディスクアレイサブシステムで実現でき、顧客の投資コストを低減できます。また、「SANRISE9500V シリーズ」のアレイコントローラで制御するハードウェアベースのデータ改ざん防止(WORM *3)機能「Open LDEV Guard」をサポートすることで、よりデータ保全性の高いシステムを実現します。さらに、「SANRISE9500V シリーズ」の最上位モデルを、コントローラ CPU の強化により高性能化した「SANRISE9585V」をラインアップに追加します。

*1) SATA : Serial Advanced Technology Attachment

*2) ニアラインストレージ : オンラインストレージとオフラインストレージの間に位置付けられるストレージ。アクセス頻度は比較的低い
即時アクセスが求められる。

*3) WORM : Write Once Read Many

今回提供する製品群の特長は以下の通りです。

(1)SATA/ファイバチャネルディスクドライブ混在の実現

- 「SANRISE9585V/9580V/9570V」において、最大物理容量107テラバイトの大容量・低価格のニアラインストレージを実現します。バックアップやアーカイブ用途に最適です。
- 日立独自の技術によりSATA ディスクドライブの信頼性を確保し、データ保全性を向上しています。

- 従来からのファイバチャネルディスクドライブ増設筐体と SATA ディスクドライブ増設筐体の混在ができます。既導入の「SANRISE9580V/9570V」に追加でき、既存資産の保護と少ない追加投資による導入が可能です。

(2) データ改ざん防止(WORM)機能「Open LDEV Guard」のサポート

- 「SANRISE9500V シリーズ」が OS に提供するディスク領域を読み取り専用またはアクセス不可に設定したり、データの保存期間を指定することができます。データの改ざんや不正アクセスを防止し、さまざまなニーズに柔軟に対応します。
- アレイコントローラで制御するハードウェアベースの WORM 機能です。
- 「SANRISE9500V シリーズ」全機種でオプションにてサポートします。(本機能はエンタプライズディスクアレイ「SANRISE9900V シリーズ」でも既にオプションにてサポート済みです。)

(3) 最上位モデル「SANRISE9585V」の製品化

- 「SANRISE9580V」のコントローラの強化によりトランザクション性能を1.4倍以上に向上させました。ミッドレンジディスクアレイサブシステム最高クラスの性能をオンライン業務に提供します。
- 「SANRISE9580V」からのオンラインアップグレードが可能です。

尚、今回新たに提供する製品は運用・管理の更なる容易化・自動化を実現する「JP1/HiCommand シリーズ」も対応しています。

なお、本製品は、ビジネス環境の変化に即応した柔軟かつ最適なシステム構築や運用の実現によって IT リソースの存在を意識させず、ユーザがコアビジネスに集中できる環境を提供する日立のサービスプラットフォームコンセプト Harmonious Computing に基づいています。

新製品の価格・提供時期(国内)

名称	概要	価格(税込み)	提供時期
SANRISE9500V シリーズ	SANRISE9500V シリーズに SATA ディスクドライブとファイバチャネルディスクドライブを混在搭載した構成。	845 万 8 千円 ~	2004 年 6 月 22 日
データ改ざん防止機能「Open LDEV Guard」	SANRISE 内の OS に提供するディスク領域に対し、アクセス属性(Read Only など)を設定する機能。	84 万円 ~	2004 年 6 月 22 日
SANRISE9585V	SANRISE9500V シリーズ最上位機。最大 107TB(物理容量)。	1,278 万 4 千円 ~	2004 年 6 月 15 日

製品ホームページ

- ・SANRISE シリーズホームページ : <http://www.hitachi.co.jp/sanrise>
- ・JP1/HiCommand シリーズホームページ : <http://www.hitachi.co.jp/jp1/>
- ・Harmonious Computing のホームページ : <http://www.hitachi.co.jp/harmonious/>

他社商標注記

記載の会社名および製品名は、各社の商標もしくは登録商標です。

取り扱い事業部・照会先 <SANRISE シリーズ>

株式会社 日立製作所 情報・通信グループ

RAID システム事業部 事業企画本部 製品企画部 【担当:富永、岸本】

〒250 - 0872 神奈川県小田原市中里322 - 2

電話:0465 - 49 - 1111(大代表) 内線5738、5733

以 上

【添付資料】

1. 「SANRISE9500V シリーズ」について

(1) SATA/ファイバチャネルディスクドライブ混在の実現

- SATA ディスクドライブは、一般的にニアラインストレージと呼ばれる、比較的アクセス頻度が少ないが即時アクセスが求められ、大容量が必要とされるバックアップやアーカイブといった用途に向けたディスクドライブです。SATA ディスクドライブは「SANRISE9585V/9580V/9570V」でサポートし、従来のファイバチャネルディスクドライブと同一コントローラ配下で混在が可能(混在は増設筐体単位)となっています。したがって新規導入の際はもちろん、既に導入済みの「SANRISE9580V/9570V」への追加導入も可能です。
- SATA ディスクドライブを使用した際の最大容量は 107テラバイト(「SANRISE9585V/9580V」、物理容量)で、比較的低価格で構築できるため、長期間大容量データを保存するためのストレージとして最適です。
- SATA ディスクドライブは、ストレージ管理ソフトウェア「JP1/HiCommand シリーズ」にてサポートされているため、ストレージシステムの計画、構築、割当、監視、拡張まで、あらゆる運用局面をカバーし、ストレージシステムの TCO*1 最適化を支援します。

*1) TCO : Total Cost of Ownership

(2) データ改ざん防止(WORM)機能「Open LDEV Guard」のサポート

DLCM *2 ソリューションを実現する上で重要な機能となる、データ改ざん防止(WORM)機能「Open LDEV Guard」を「SANRISE9500V シリーズ」でサポートします。これにより既存データの改ざん防止、不正アクセス防止、保存期間の設定といった機能の利用が可能です。これはアレイコントローラで制御するハードウェアベースの WORM 機能であるため、基本的にアプリケーションを選ばない、プラットフォームとしての機能提供が可能となります。

SATA ディスクドライブとともに、DLCM ソリューションの実現を強力に支援します。

*2) Data Life Cycle Management

(3) 最上位モデル「SANRISE9585V」の製品化

ミッドレンジ向けオンラインストレージの強化として、「SANRISE9580V」の1.4倍以上にトランザクション性能を向上させた「SANRISE9585V」を提供します。

「SANRISE9585V」は、コントローラやポートを搭載する基本筐体と、ディスクドライブを搭載する増設筐体とで構成されます。基本筐体は高さ 3U *3 で、デュアルコントローラを標準装備、最大 8 ポートの上位インタフェースを搭載可能、最大 8G バイトキャッシュを搭載可能、最大 449 台のディスクドライブを制御可能であり、ミッドレンジアレイで世界最高クラスの性能、容量スケールビリティにより、大規模のストレージコンソリデーションに対応したシステムです。ディスクドライブ 15 台を搭載できる増設筐体との組み合わせにより、SATA ディスクドライブ搭載時、最大 107 テラバイト(物理容量)の大容量システムを構成可能です。増設筐体は「SANRISE9580V/9570V」と共通で、アップグレードキットにより、既存の「SANRISE9580V」システムをオンライン中にアップグレードすることが可能です。

*3) U=ラック筐体に搭載する際に必要となる高さを示すユニット数。1U は 44.45mm。

2. 製品の仕様

(1)「SANRISE9500V」仕様

項目		諸元			
製品名称		SANRISE9585V /9580V	SANRISE9570V	SANRISE9530V	
				72GB ディスクドライブ 搭載モデル	36GB ディスクドライブ 搭載モデル
型名		HT-4063-RKHE 他	HT-4063-RK 他	HT-4063-RSS75 他	HT-4063-RSS36 他
最大サブシステム容量(物理容量)		107TB	53TB	356/641/927GB	212/459GB
ユーザ容量 (RAID5) ^{*1}	FC ^{*2} のみ	60.1TB/サブシステム	30.0TB/サブシステム	202/405/694GB	126/334GB
	SATA 混在	100.4TB/サブシステム	49.9TB/サブシステム	-	-
RAID レベル(RAID 構成)		5/1+0/1/0 ^{*3}			5
最大キャッシュ容量		8GB/デュアルコントローラ	4GB/デュアルコントローラ	1GB/コントローラ	
ホストインタフェース		2Gbps ファイバチャネル			
ホストインタフェース サポート	標準	4 ^{*4}	4 ^{*4}	1 または 2 (モデルによる) ^{*4}	
	最大	8 ^{*4}			
ディスクドライブ インタフェース		2Gbps ファイバチャネル 1.5Gbps SATA-2		2Gbps ファイバチャネル	
搭載可能ディスク ドライブタイプ	FC ^{*2}	36/72/146GB(1万回転) 36/72GB(1万5千回転)		72GB (1万回転)	36GB (1万5千回転)
	SATA	250GB			
搭載可能 ディスクドライブ 台数	基本筐体		最大 14 台	5/9/13 台	6/13 台
	増設筐体	最大 15 台 ^{*5}	最大 15 台		
	最大構成	449 台 (SATA ディスクドライブは 最大 420 台)	224 台 (SATA ディスクドライブは 最大 210 台)		
スペアディスクドライブ (グローバルホットスペア)		最大 30 台 (搭載位置自由)	最大 15 台 (搭載位置自由)	1 台 (標準装備)	
デュアルコントローラ		標準装備	可(オプション)	有(標準装備)/無(モデルによる)	
床置きモデル		-	キットにて対応可		
電源入力		単相 200V または 100V(専用ラックは単相 200V)			
外形寸法 (W × D × H) mm	基本筐体	483 × 656 × 129		483 × 656 × 129	
	増設筐体	483 × 656 × 129			
	専用ラック	610 × 813 × 1, 880 × 1 ~ 3	610 × 813 × 1, 880 × 1 ~ 2		
省エネ法に 基づく表示	区分	G			
	エネルギー 消費効率 ^{*6}	0.31		0.97	

*1: 本容量は 1kByte=1,000Byte として計算した値です。

*2: FC : ファイバチャネル

*3: SATA ディスクドライブ部分は RAID 5/1+0/1 となります。

*4: ストレージブール機能使用により、128 ホストグループ/ポート、256LU/ホストグループまで設定可能です。

*5: 増設筐体の最初の 1 台に限り、14 台でファイバチャネルディスクドライブのみの搭載となります。

*6: エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定された消費電力を、省エネ法で定める記憶容量で除したものです
(上記の値はファイバチャネルディスクドライブ搭載最大構成時のものです)。

(2)「Open LDEV Guard」仕様

項目	内容
指定単位	論理ボリューム (LU)
指定可能な装置内 LU 番号	SANRISE9570V/9530V :0 ~ 511 SANRISE9585V/9580V :0 ~ 2,047
アクセスレベル	Read/Write, Read Only, Protect 他

・書き込み禁止モード(Read Only 他)には、その有効期間である Retention Term を 1 日単位で設定できます。

・他のプログラムプロダクトと併用した場合、Open LDEV Guard で設定したアクセスモードが優先されます。

以 上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
